

9月1日(火) 3年 ぶどう学習【収穫】(社会科)

明治のぶどう農家の方にご協力をいただき、6月から3回にわたってぶどう畑を訪問しました。ぶどうの生長や作業の様子を実際に目にするのと同時に、説明を聞いたり質問をしたりしながら理解を深めました。児童たちは、自分で袋掛けしたぶどうを手に取り、収穫の喜びを味わっていました。

剪定の仕方を教えてもらいました



収穫したぶどうは、箱詰めして農協に出荷します。



糖度計をのぞいています。ピオーネの糖度は18で、甘さも十分です♪

9月11日(金) 3年 ぶどう学習【選果場】(社会科)

ぶどう学習として、JA 選果場を訪れました。重さ(房数)ごとに箱詰めされたぶどうの品質を選別して等級を定めたり、機械で箱をひも掛けしたりする様子を見学しました。この後、美星のぶどうは県内だけでなく、市場の動向を見ながら、大阪や福山方面に出荷されるとのことです。

何度も畑を見学させていただいたぶどう農家の方をはじめ、ぶどう部会、JA 職員の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。



農家の方が育てたぶどうが並んでいます



等級を選別しています



等級の最上位は
「赤秀」です



機械でひもを掛けます(一瞬です)



児童たちの質問にも答えていただきました



9月10日(木) 6年 平櫛田中美術館見学・古代まほろば館での勾玉づくり体験

ふるさと井原魅力発見事業の取組の一つとして実施しました。平櫛田中美術館では、里帰りしている鏡獅子など、平櫛田中氏の作品を中心に、学芸員の方の解説を交えながら鑑賞しました。古代まほろば館では、展示品を見学したあと、勾玉のペンダントづくりを体験しました。井原市ゆかりの「本物」の作品や歴史的資料に触れ、豊かな学びの時間となりました。



古代まほろば館展示室入口



研修室で勾玉のペンダントづくりの説明を聞きます



①材料の石に勾玉の輪郭を描き、糸のこぎりで周りをカット



②ハンドドリルで穴を開ける



③紙やすりで輪郭を整える



④耐水紙やすりで表面を磨く



⑤ひもを通して完成!



9月11日(金) 民生委員さんによるあいさつ運動

1学期に引き続き、民生委員さんが毎月12日前後にあいさつ運動をしてくださっています。この日は小雨が降っていましたが、子どもたちは、元気な声で「おはようございます」と、気持ちの良いあいさつをしていました。



9月17日(木)～18日(金) 5年 海事研修(渋川青年自然の家)

小学生になって初めての宿泊を伴う行事でした。他に4校が研修に来ていました。まず、海洋博物館を見学し、その後、他の2校と一緒にカッター漕ぎを体験しました。夕食の前後には、体育館で他校児童と一緒に交歓の集いをしたり、貝殻のキーホルダーづくりをしたりしました。2日目は地引網を体験し、様々な種類のお魚を獲ることができました。集団行動の大切さを学ぶとともに、瀬戸内の海に触れながら仲間との心のつながりを深める良い機会となりました。



他校の児童に向けて、
学校紹介をしました



海洋博物館



3校合同でのカッター漕ぎ体験。息が合ってとても速く漕げました♪



5校そろっての交歓会



他校の児童3人に自己紹介できたかな



貝殻ペンダントづくり
教頭先生がレクチャー



9月18日(金) 3年、4年 語り

今回は、3年生には「河童のお礼」、4年生には「ひとつ目の村」を語っていただきました。「ひとつ目の村」は、主人公がひとつ目の女の子を見つけ、見世物にするためにさらおうとしましたが、反対にひとつ目の大人たちに捕まり、ひとつ目の村に連れて行かれました。その村で主人公は、目がふたつある化け物として見世物にされてしまいます。このお話は、立場が変われば見え方や考え方も変わることを教えてくれています。 “おかし こっぷり”



9月24日(金) 3年 交通安全キャンペーンへの参加(ひとづくりネットワーク)

秋の交通安全運動に合わせて、ひとづくりネットワーク安全・環境部会が、井原警察署、井原市交通安全対策協議会等の団体と合同で交通安全キャンペーンを行い、幼稚園、小学校(3年生)、中学校(1年生)が参加しました。青空市の駐車場で、美星っ子たちが車の運転手さんに「安全運転をお願いします」と声をかけながら、園児の折り紙、小中学生のメッセージカードも入っている啓発グッズを渡しました。



9月28日(月) 4年 デニム工場見学(ふるさと井原魅力発見事業)

井原市の特産品であるデニム製品を製造しているタカヤ商事株式会社の工場(高屋町)を訪れました。工場長さんが、型紙・裁断・縫製・洗い加工・検品の5つの製造過程をわかりやすく説明してくださいました。児童たちは、プログラムで動く機械や軽石で洗い加工するドラムなどの設備に興味津々でした。また、児童たちの質問にも丁寧に答えていただきました。最後にデニム生地のカレンダーをお土産にいただきました。タカヤ商事の皆様、ありがとうございました。

自動で型紙の枠を描き、ミシン目を入れます



デニム生地の裁断(何枚も重ねて裁断します)



縫製(機械ではできない作業です)



洗い加工のドラム(一度にジーンズが100着洗えます)



検品(糸くずや汚れ、針が残っていないか等を確認)



児童の質問にも丁寧に答えていただきました



お土産にいただいたデニムのカレンダー♪


